

そよかぜだより

2016 4月号

四月(卯月)



そよかぜ歯科医院のURL
<http://soyokaze-dc.com>



長い冬を超え、あちこちで桜が満開に咲きこもるわいでしたね。桜が咲くと春だなと感じるわね。4月はまた新しいスタートの時、夢がくぐらませ、懸命に頑張っている方も多いでしょう。4月は、たくさん行事があるかと思いますが、今回はイースターのお話をします。イースターは、イエス・キリストの復活を記念する日です。イースターエッグはどんな意味があるのでしょうか。イースターエッグは、生命の始まりを象徴しています。イエス・キリストは、十字架上で、亡くなってから三日目に復活したとされています。ちょうどひよこが卵の殻を破って出てくるように、キリストも死という殻を破ってよみがえったことを象徴しているのです。そのため、イースターの日には、イースターエッグを作りお祝いをするのです。

ゴールデンウィークの休診日

4月28日(木)
29日(金)
5月 3日(火)
4日(水)
5日(木)



お休みさせていただきます。
ご了承下さい。

※緊急の場合は、流山市休日診療室へ
お願い致します。
診療時間：9時～12時
TEL 04-7155-3456

新生児期の口腔内特徴

今回は、新生児期の口腔内特徴についてお話します。新生児期は、出生後歯が萌出していない時期、約5カ月間を示します。歯がないため、栄養は母乳、ミルクなど流動物で摂取します。この経口摂取する際に不随意的に口、舌、顎が反射的に起きます。これを原始反射(哺乳反射)といいます。そのほかに指で赤ちゃんに触れると握る動作などが挙げられます。この反射は、子供が正常に成長し、脳が発達すると失われます。年を重ねても、原始反射がある場合は、脳性麻痺などの脳に障害がある可能性が高いと考えられます。

この反射は、4カ月からのカ月に消失していきます。この原始反射が消失が確認したら離乳開始時期と考えます。この時期を、嚥下機能獲得期(えんげきのつかくつき)すなわち、自分の力で飲み込むことができる時期です。食べ物が気管に誤嚥せずに食べ物を食道、そして消化器へ送り込めるようになります。

離乳期には、初期、中期、後期に分かれます。そのうち新生児期は、離乳の初期(5、6カ月頃)に入り、口唇から食べ物を取り込み、舌のどに送り、口を閉じて「クワン」と飲み込む事を覚える時期です。食べ物は、ペースト状にすることによって飲み込むことができます。

この摂取時に気をつけなければいけないことがあります。それは、離乳時期における口移しです。この時期は食物を柔らかくしななければならぬので、大人の口に入れて漬けてあげてしまいがちです。これにより大人のお口の中の菌が新生児のお口の中に感染します。新生児のお口の中は無菌状態のため、大人のお口の中の菌はすべからずです。口移しにより、新生児には本来ないはずの菌が入り、むし歯菌がうつり、むし歯を発生しやすくなります。予防方法として、専用の食器を作り、3歳頃までは、口移しをしないようにすることが重要です。



BBQ

3月31日(木)に院内の駐車場にて、スタッフでバーベキューを行いました。天候にも恵まれ、とても楽しい時間を過ごすことができました。



院長の心

4月中旬になり、最高気温も20℃を超す日が増えてきました。朝も冬場とは違って布団から出やすくなりました。この季節を利用して早寝、早起きの習慣をつけてはいかがでしょうか。

早寝、早起きの利点として①成長ホルモンの分泌が促進されます。②自律神経のバランスが良くなります。③生活リズムが一定に保ちやすい。ことなどが挙げられます。

特に①の成長ホルモンは午後十一時から午前二時くらいまでに多く分泌されます。これにより、免疫力が上昇すること、やる気がアップすることが考えられます。このように、早寝、早起きを身に付け、併せて食生活も気をつけることにより、健康体を手に入れましょう。

これから季節もよくなり、程よい休息、程よい運動、そして質の良い食生活を行ない、快適な生活スタイルを作れば最高ですね。